

**製品名: MAD1 (901) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe13551**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	83kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAD1L1
別名	hMAD1; HsMAD1; MAD1; MAD1L1; PIG9; TP53I9; TXBP181;
遺伝子 ID	8379.0
SwissProt ID	Q9Y6D9
免疫原	ヒト MAD1 の組み換えタンパク質

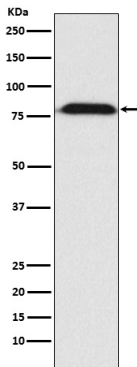
**背景**

中期板において全ての染色体が正しく整列するまで後期の開始を阻止する紡錘体形成チェックポイントの構成要素。中期板において全ての染色体が正しく整列するまで後期の開始を阻止する紡錘体形成チェックポイントの構成要素 (PubMed:10049595、PubMed:20133940、PubMed:29162720)。前中期において、未結合動原体においてMAD2L1の閉鎖型コンフォメーション (C-MAD2) とヘテロ四量体複合体を形成し、MAD2L1の開放型コンフォメーション (O-MAD2) をリクルートし、O-MAD2からC-MAD2への変換を促進することで、有糸分裂チェックポイントシグナル伝達を確実にする (PubMed:29162720)。

## 研究分野

細胞周期 G1S;細胞周期 G2M\_DNA;

## 画像データ



A431 細胞溶解物における MAD1 発現のウェスタンプロット分析。